

産業建設分科会

議案第59号 平成29年度鈴鹿市下水道事業会計補正予算（第1号）

江島雨水ポンプ場長寿命化に向けて！

（概要） ポンプ設備において早期の更新が必要となったため、平成29年度から平成31年度までの期間において、日本下水道事業団とポンプ設備の更新工事委託の協定を締結するものです。

Q 修理が必要なポンプの状態はどうだったのか。

A 江島雨水ポンプ場には5基のポンプが備わっています。その内の2号、3号について分解整備を行ったところ、ポンプの主要部品となる主軸部分に損傷が発見されました。応急処置はしましたが、耐用年数をかなり経過していることから、更新工事を行い、治水上の安全確保を図ります。



議案第64号 平成28年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

市営住宅跡地の有効活用を！

Q 解体した市営住宅の跡地はどうするのか。

A 平成28年度は鼓ヶ浦団地の2棟11戸を解体しました。今後も鼓ヶ浦団地、東玉垣団地について順次処分を考えています。
跡地については、市営住宅の建て替えはせず、民間に売却し、新たな住宅市街地としての再生を考えています。

討 論（要旨）

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。（討論順）

< 議案について >

森川 ヤスエ 議員（日本共産党）

議案第64号、議案第65号に反対。その他議案は賛成。

議案第64号について、平成28年度の決算の大きな特徴に、財政が厳しいため、市民に対し国保税を17%増税、Cバスの運賃を2倍に値上げするという大幅な負担増を求めながら、特別職が自らの報酬の引き上げを行ったということが挙げられる。報酬の額ではなく、政治をつかさどる立場、立ち位置が評価され

るということを認識していただきたい。実際、Cバスの運賃の値上げで乗車人員の16%が減少している。市民の外出の機会を奪っており、元に戻すことを求めて反対する。

議案第65号について、平成28年度の黒字は国保税を値上げしすぎたのではないかと考える。赤字になれば、値上げという市民への負担増では市民生活がとても耐えられるものではない。これ以上、市民負担を増やさないよう、一般会計から繰り入れし、赤字を補填することを求めて反対する。